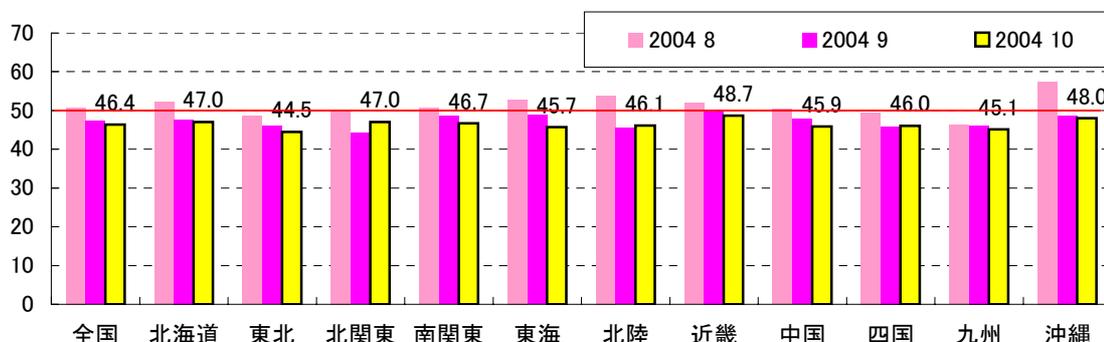


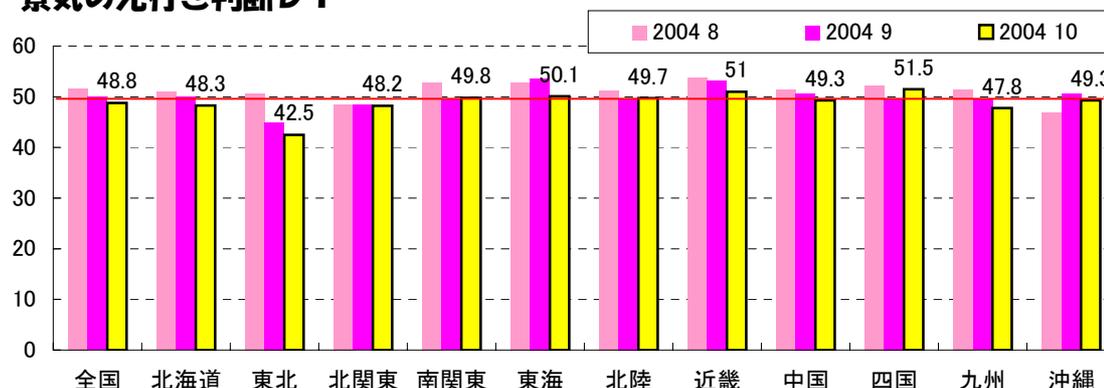
# 景気の現状判断DIは、全国11地域中3地域で上昇。近畿は、前月比-1.0

資料)内閣府「景気ウォッチャー調査」  
(2004年11月9日公表)

## 1. 景気の現状判断DI



## 2. 景気の先行き判断DI



## 3. 判断の理由（近畿）

### 【現状】

#### ■天候要因

- 夏物商戦のエアコン、オリンピック効果等の反動の他、度重なる台風の上陸で天候も悪かったことから売上がなかなか回復しない(家電量販店)
- 今年は次々と大型台風が上陸し、ツアー中止に伴う旅行キャンセルが相次いだ(旅行代理店)
- 度重なる台風の影響で、生鮮品の相場が急騰し、農産物が久々に大きく売上げを伸ばしている(スーパー)
- 相次ぐ台風や、中越地震の災害復旧工事に伴う日雇い求人が始まった(民間職業紹介機関)
- 台風23号は、日中の2日にわたる大雨となり、通常より3割から4割の売上ダウンとなった。(コンビニ)

#### ■回復の動き？

- アルバイト、パートの求人が好調に推移している。特に、製造業の請負業で、自動車、電機、電子、流通を中心に求人数が増えている(求人情報誌製作会社)

### 【先行き】

#### ■新

- デジタル放送の開始に伴い、客の薄型テレビへの感心が高まっている(家電量販店)
- 新紙幣の導入での各種標示物、告知物といった印刷物の注文が出始めている(コピーサービス業)
- 続々と新型車が発売されており、家族で検討している様子が見られるほか、リサイクル法の導入で古い車の入れ替えが進むと予想されることから、先行きに期待が持てる(乗用車販売店)

#### ■天候要因

- 台風、中越地震の影響がどのように出るか未知数(食料品製造業)